



bunbun cafe

bun bun cafe..は、おいしいお菓子とお茶でなごみながら原発や放射能に関するおしゃべりや情報交換をする場です。
'11年2月に「核燃サイクル」について初歩から学び話し合う場としてスタート、原発事故後は「原発、放射能」に関する情報や不安を共有しながら、年齢、性別などを問わず幅広い層の人が安心してしゃべれる場をつくりたいと2年間続けてきました。

最近の動向についてのミニレクチャーもあります。2ヶ月に1度位のペースで開いています。



日時: Vol.16 8月4日(日) 14時~17時
Vol.17 10月6日(日) 14時~17時

場所: 青葉区中央市民センター和室
(青葉通り仙台銀行本店うら)

参加費: 400円(お茶お菓子付)

主催: ぶんぶんカフェ

お問い合わせ先: cafebunbun@gmail.com
090-3145-1099

twitter: bunbun_sendai

☆予約無しでも大丈夫ですが小さい部屋につき事前連絡頂けると助かります☆



レクチャーのお話は 多々良 哲 さん

bun bun cafe, 2 1st?

bun bun cafeは原発や放射能に関するおしゃべりと情報交換の場です。多々良哲さんによる最近の動向についてのミニレクチャーもあります。

おいしいお菓子とお茶でなごみながら、不安や情報を共有することで、今と向き合う勇気もらい元気になれる場でありたいと考えています。2ヶ月に1度位のペースで開いています

なんぞ bun bun cafe, というの?

蜜を探っても花を壊さないミツバチは持続可能性の象徴。その羽音は英語でbuzzといい、バズ・コミュニケーションは「ロコミ」という意味。本当に必要なことを草の根で伝えていく——という、映画「ミツバチの羽音と地球の回転」の鎌仲ひとみ監督のメッセージからきています。

'10年11月には仙台で同映画の自主上映会があり、そのスタッフ有志が呼びかけてbun bun cafeが始まりました。大切なこと、必要なことを、私たちがミツバチのようにぶんぶんしながら伝えて、人の輪を広げたいと思っています

参加者は?

年齢性別を問わず幅広い層の方が来ています。放射能が気になるけれど話す人がなくて…という方ぜひ。お話を聞くだけでもいいかな…という人も歓迎。託児はありませんが、お子さまと一緒にどうぞ

いっからやっているの?

bun bun cafeは'11年2月に、「六ヶ所村ラプソディー東日本市民サミット※」の分科会として誕生しました。第2回を4月に開催予定でしたが、その間に原発事故が発生。「再処理」などについて初歩から学び話し合う場として続ける予定でしたが、急きょ「原発、放射能」に関することを話し合う場として実施、現在に至っ

※「六ヶ所村ラプソディー東日本市民サミット」とは鎌仲ひとみ監督のドキュメンタリー映画「六ヶ所村ラプソディー」の自主上映者を中心とするSTOP再処理を考へ、行動することを趣旨とした市民集会。第1回は'09年2月盛岡で、第2回は'11年2月、第3回は'12年2月どちらも仙台で開催された

生活協同組合「あいコープみやぎ」専務である多々良さんは音楽(DavidBowieなど)好きです。パンクでロックな精神にあふれたミニレクチャーはおすすりめです!(要は分かりやすいということo^-)